

会議情報

国際会議・国内学会の今後の予定

Future Schedules of International/Domestic Conferences

日本電磁波エネルギー応用学会に集まっている国際会議・国内学会などの情報です。新型コロナウイルスの影響により日程変更やオンライン/バーチャル開催への変更が多数出ていますので、最新情報に関しては各ホームページをご確認下さい。

<JEMEA 主催>

1. 日本電磁波エネルギー応用学会 総会・講演会

会期:2021年5月28日 場所:オンライン開催

例年通り、5月下旬に JEMEA の総会および講演会を実施します。昨年と同様、オンライン開催を予定します。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

<https://www.jemea.org/>

2. 第15回 日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム

会期:2021年10月13-15日(予定) 場所:北九州国際会議場

今回は新型コロナウイルスの終息を想定して北九州市にて開催予定です。現地開催が不可能になった場合は、速やかに適切な代替案(オンライン開催など)をお知らせ致します。投稿締切などの情報は JEMEA ホームページでご確認下さい。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

<https://www.jemea.org/>

<JEMEA と関連の深い国際会議>

1. International Microwave Power Institute Symposium (IMPI 55)

会期:2021年6月28-30日(第55回) 場所:オンライン開催

マイクロ波加熱関係専門の国際会議。ショートコースや企業展示もあります。昨年に引き続き、IMPI 55 もバーチャル開催(オンライン開催)となることが決定しました。(投稿は締切済)

<http://impi.org/>

2. AMPERE

会期:2021年9月13-16日(第18回) 場所:スウェーデン・イエーテポリ

欧州を中心としたマイクロ波加熱関係専門の国際会議。企業展示もある。2年に1度の開催頻度。現時点では現地開催となっていますが、最新情報はホームページをご確認下さい。(投稿は締切済)

<https://www.ampere2021.com/>

3. Materials Science and Technology (MS&T 21)

会期:2021年10月17-21日 場所:アメリカ・オハイオ州 コロンバス

投稿締切:2021年3月15日

材料科学・材料工学系の国際会議。マイクロ波を含めた電磁波やレーザー等を用いた材料プロセッシングのセッションが組まれる予定です。現時点では現地開催となっていますが、最新情報はホームページをご確認下さい。

<https://www.matscitech.org/MST21>

4. Pacifichem 2021

会期:**2021年12月16-21日** 場所:アメリカ・ハワイ州 ホノルル

投稿締切:2021年4月12日

5年に1度開催される環太平洋国際化学会議。今回は日本化学会がホストソサイエティ。会期が当初の2020年12月から2021年12月に延期されました。現時点では現地開催となっていますが、最新情報はホームページをご確認下さい。

<https://pacifichem.org/>

5. The 4th Global Congress on Microwave Energy Applications (4GCMEA)

会期:**2022年8月** 場所:中国・成都

4年に1度開催のマイクロ波加熱応用に特化した国際会議。JEMEA会員の多くも投稿・参加予定。会期が当初の2020年8月から2022年8月に2年延期されました。投稿システムの再開は2021年末頃を予定しています。

<http://campa.com.cn/>

6. 2022 Asia-Pacific Microwave Conference (APMC 2022)

会期:2022年11月8-11日 場所:ベルサール羽田空港(予定)

アジア・太平洋各地で毎年開催されるマイクロ波技術関連の国際会議であり、電子情報通信学会が関係しています。日本での開催は4年に1度の頻度であり、2022年は東京・羽田空港の会議場で開催予定。ただし、ハイブリッド開催やオンライン開催も検討中。

＜その他の国際会議＞

1. International Vacuum Electronics Conference (IVEC 2021)

会期:2021年4月27-30日(第22回) 場所:オンライン開催

電子管に関する国際会議。加熱そのものの研究発表はないが、電子管はマイクロ波をはじめとする大電力電磁波源の要素技術に相当。電子管を用いたテラヘルツ波源の研究発表もある。昨年に引き続きオンライン開催となりました。

<http://www.ivec2021.org/>

2. IEEE MTT-S International Microwave Symposium (IMS2021)

会期:2021年6月6-11日 場所:アメリカ・ジョージア州 アトランタ

マイクロ波技術に関する世界最大のシンポジウム。アメリカ企業を中心とした企業展示はマイクロウェーブ展以上の広さ。マイクロ波加熱関係の研究発表は少ないが、電磁波エネルギーという観点では無線電力伝送のセッションやバイオ関係への応用研究のセッションが組まれる予定。現時点では現地開催となっておりますが、最新情報はホームページをご確認ください。

<https://ims-ieee.org/>

＜国内学会など＞

1. 日本化学会 第101春季大会

会期:2021年3月19-22日 場所:オンライン開催

会員約3万名を擁するわが国最大の化学の学会。第101春季大会では特別企画として「故きを温ね新しきを知るマイクロ波化学」と題したシンポジウムが予定されており、マイクロ波加熱関連の研究発表が行われます。参加登録締切は2月26日予定。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/csj101st/top>

2. マイクロウェーブ展 (MWE 2021)

会期:2021年11月24-26日 場所:パシフィコ横浜(予定)

マイクロ波技術関連の学術、産業、教育に関する国内最大級のイベント。近年のワークショップでは、マイクロ波加熱関連セッションが設立されています。昨年のMWE 2020はオンラインで開催しており、MWE 2021においても状況を見極めて開催方式を決定予定。

<https://apmc-mwe.org/>